

## 令和5年度 高校生ものづくりコンテスト「電子組立部門」山口県大会 打ち合わせ事項

## 1. 製作回路について

## 2. 大会当日の役員について

審査委員 (NF デバイステクノロジー様)

競技委員 (各校引率者)

運営委員 (柳井商工高校 建築・電子科)

## 3. 採点の分担について

項 目		担 当
組み立て技術	動作状況	競技委員
	整合性	
	組み立て状態	審査委員
	はんだ付け	
	基板組み立て・基板はんだ付け・美観等 総合審査	
	安全衛生	巡回担当
	作業の取組	
プログラミング 技術	動作	プレ審査担当
	制御プログラム※1	審査委員
設計力	製図	競技委員 (運営委員)
	設計	
その他	服装	巡回担当
	作業態度	

## ①審査委員が行う審査

- ・組み立て、はんだ付け等の審査
- ・制御プログラムの審査 (※1)

「課題 5採点基準 (2) 順位の決定方法 ④」が適用される場合のみ行う。

## ②競技委員が行う審査

- ・回路と製図の整合性テスト

プレ審査の後、プレ審査担当が自作テスト (担当校準備) にて審査する。

- ・設計力の審査

運営委員が審査を行い、競技委員が確認を行って得点を算出する。

4. 競技中の巡回について

採点項目「その他」について巡回をしながら審査する。

3組・40分

A 10:50~ NFデバイス + 競技委員2名 (宇部工 / 柳井商工)

B 11:40~ NFデバイス + 競技委員2名 (徳商工 / 柳井商工)

C 12:30~ NFデバイス + 競技委員2名 (小野工 / 柳井商工)

(競技役員の各2名については、当日引率者の中から運営委員が決定します)

5. プレ審査について

審査委員、競技委員が各席を担当し、各席の選手をそれぞれ審査する。(当日お伝えします)

- ① 組毎に記録者1名と指示・確認者2名を決める。
- ② 審査表(NF様準備)の確認手順に沿って審査する。
- ③ 競技者に対して課題ごとに審査を希望するか聞き、希望する者のみ審査する。
- ④ 確認手順をすべて確認できれば、判定を合とする。
- ⑤ 1つでも確認できない手順があれば、判定を否とする。

※プログラム課題の部分点はなし

6. その他

①提出用USBメモリについて (プログラム提出は実際必要か?)

- ・USBメモリは各校で準備
- ・ヘッダーファイルの提出は?

③その他

- ・選手宣誓について (前年度優勝校ではいかがですか)
- 今年度は徳山商工高校

同席のとき、

① 基盤の書き出し、

② 702713a  
ホビーにC++

↓ 提出なし

なし

異議なし

使用済みのUSBメモリはOK!

Range  
範囲

- ・書き出し
- ・ポートの書き出し
- ・定数
- ・入出力設定
- ・C++

、1年後は、新しい基盤の大会でも使用。

と4ヶ月分は覚悟かきと。

○ 昇年に、鳥取に開催予定、

プレ審査(制御プログラム動作確認)の手順

ゼッケン番号

課題 1							
確認 手順	トルスイッチ (GSW)	タクトスイッチ (TSW)	ホトインタラプタ (PI)	7セグLED		結果	判定
				10桁 (7SLED10)	1桁 (7SLED1)		
初期 設定	OFF (手前側)	OFF (押さない)	OFF (遮断しない)				合 ・ 否
①		ON (押して離す)					
②		ON (押したまま)					
③		OFF (指を離す)					
④		ON (押して離す毎に)		カウントアップ 「3」~「20」			
⑤		ON (押して離す)					変化しない